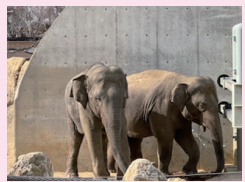


- 5日 夜間火災想定避難誘導訓練(信生寮)
- 15日 外出企画「カラオケを楽しもう！」(地活ナルド)
- 21日 遠足「のんほいパークとホテルバイキング」(讃栄寮)
- 22日 2024年度聖隷福祉学会
- 27日 防犯訓練(讃栄寮・ナルド)



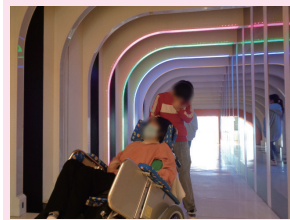
プロギング@浜松駅(厚生園)

のんほいパーク



防災訓練

- 11日 外出企画「マイビッグカフェに行こう！」(地活ナルド)
- 12日 niceeに行こう(信生寮)
- 13日 歯科講習会(讃栄寮)
- 14日 ホワイトデーお菓子企画(信生寮)
- 18日 ソフトボール親睦試合vs慈照園(讃栄寮)
- 24日 防災訓練:搬送法(讃栄寮・ナルド)
- 25日～4月2日 「お花見とCaféナルド」(生訓ナルド)



niceeに行こう

- 5日 プロギング@浜松駅(厚生園)
- 12日 外出企画「いちご狩り&動物園に行こう！」(地活ナルド)
- 16日 消防設備訓練(信生寮)
- 20日 カモ・カモン「新川の清掃」(讃栄寮)
- 24日 いちご狩り(信生寮・まじわりの家)
- 24日 防災訓練:消防設備・消火・緊急連絡訓練(讃栄寮・ナルド)
- 30日 食事企画「飲茶フェア」(厚生園)

ご援助とご奉仕 ありがとうございます

◆ご援助いただいた方々 (敬称略・順不同)

(令和7年2月1日～令和7年4月30日)

伊藤恵美子、岩品勝久、内山直英、笠原桂子、志村俊身、鈴木寿子、鈴木秀長、高岡誠次、藤沢俊光、松本五百子、山田八重、小田美装(術)、浜松ガスケツト(株)、ユニヴァーサル商事(株)、匿名2名

合計 153,000 円

◆ご奉仕のかずかず (敬称略・順不同)

(令和7年2月1日～令和7年4月30日)

- 信生寮・まじわりの家
新型コロナ感染予防のため、ご遠慮いただいております。
- 讃栄寮
伊藤たかね(手芸)
- 礼拝奉仕者
赤井伸之、大倉和子、児玉ゆき子、長谷川佳子、長谷川治代、池谷明高、岡俊雄、平松寛人、星野健、三輪保志、三輪尚士、望月明、鈴木淳司、萩田妙子、櫻井かほり

苦情解決報告

聖隷厚生園讃栄寮では、施設の苦情解決を適切に行うことにより福祉サービスの質を高め利用者の満足度や信頼性を確保・向上させ利用者の権利を守ることを目的として、苦情の受付体制を整えております。

令和6年10月1日～令和6年12月31日の期間、苦情はありませんでした。

「聖隷厚生園を育てる会」へのご支援について

郵便振替口座 00880-6-15517「聖隷厚生園」

「聖隷厚生園を育てる会」は、厚生園の福祉活動が健全に継続・発展するように、助言や支援をしていくために発足しました。これからも厚生園が地域福祉推進の拠点として、その役割を担う為の取り組みをサポートしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願い申し上げます。戴いたご寄付は、聖隷厚生園の福祉活動にあてられます。

厚生園だより

まじわり

172

2025.5 発行

聖隷厚生園の
新たな組織の改変について

2025年度 事業計画
New Faceのご紹介！

各施設の行事
厚生園の動き

いちご狩りに行ってきました！

傷ついた草を折ることなく
ほのぐらい灯心を消すことなく
真実をもって道をしめす

(イザヤ書42章3節)

聖隷厚生園の新たな組織の改変について

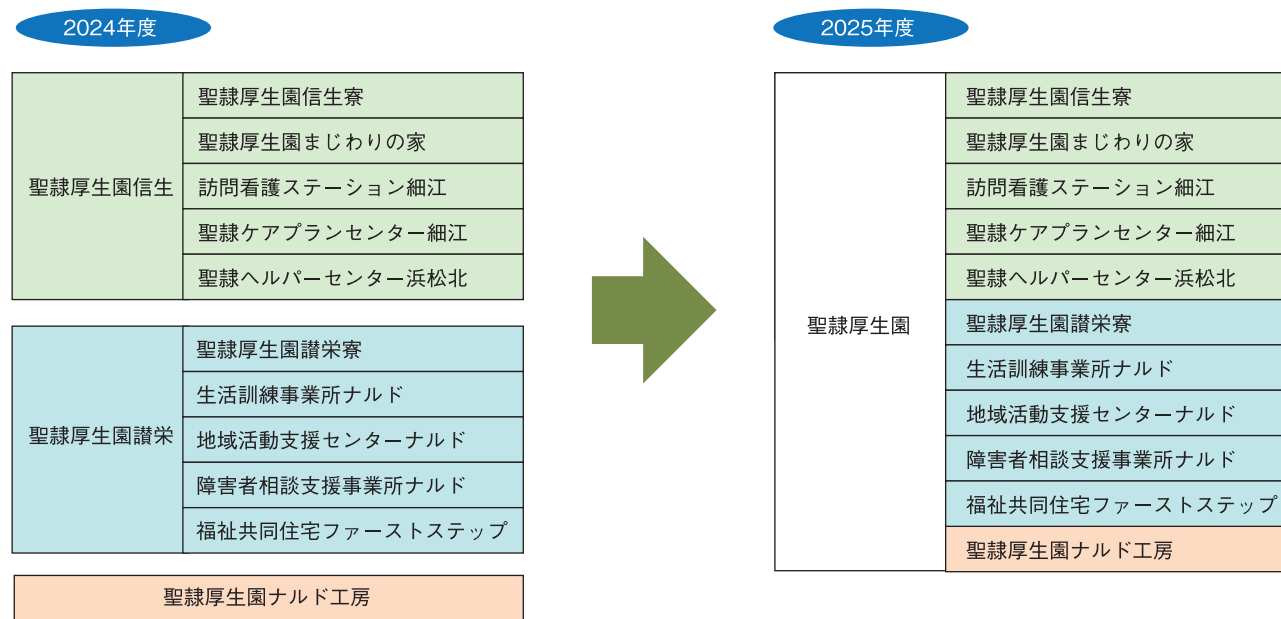
聖隷厚生園 園長 石川明彦

平素より当施設の運営に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度、聖隷厚生園は大きな組織改編を行っております。これまで、聖隷厚生園信生、聖隷厚生園讃栄、聖隷厚生園ナルド工房としてそれぞれ独立した施設となっておりましたが、新たに「聖隷厚生園」を一つの大きな施設ととらえ、その中に入所施設支援と在宅サービス事業が包括されることとなりました。これにより、様々な世代にわたって複雑化する地域課題の解決に対応することが出来るよう、これまで以上に事業所間の連携を強化していきたいと考えております。



2025年度 聖隷厚生園の組織体制



また、聖隷厚生園の一体的な活動として、長年聖隷厚生園を支えて下さっている「聖隷厚生園を育てる会」のご協力もあり、浜松駅前でのプロギング(注1)の活動が本格化してきました。ご利用者、職員、地域の方々が共に社会貢献活動を行うことで一体感が生まれ、ご利用者にも自らが地域を支える一員であるという思いを持っていただくことができる活動となっています。

引き続き聖隷厚生園の施設理念の継承の取り組みを行い、職員一人一人が原点に立ち帰り、誇りをもってご利用者の意思決定・思いを大切にした支援が出来るよう努力してまいります。本年度もご利用者・ご家族・地域の皆様方のご指導ご鞭撻のほどを賜りますようお願い申し上げます。



注1) プロギング(plogging)はジョギングをしながらゴミを拾う新しいフィットネス。スウェーデン語の「plocka upp(拾う)」と英語の「jogging(走る)」を合わせた造語。スウェーデン人アスリートのエリック・アルストロム氏(Erik Ahlstrom)が自己ベストではなくゴミ拾いに専念したランニングとして2016年に始めました。その活動は瞬く間に世界中に広がり、今や世界100ヶ国以上で楽しめる一大ブームになっている。

2025年度 事業計画

障害者支援施設聖隷厚生園信生寮 聖隷厚生園まじわりの家 訪問看護ステーション細江
聖隷ケアプランセンター細江 聖隷ヘルパーセンター浜松北

2025年度は引き続き医療と介護・福祉の連携強化を行い、利用される方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、一体的な事業展開を目指す。聖隷厚生園信生寮では、「利用者の意思決定支援」「職員が定年まで心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくり」の2つを基本方針とする。利用者と職員がお互いの気持ちを理解し合える機会を作り、利用者・職員の心理的安全性が保たれた施設を目指す。在宅部門においては、利用者が望む地域生活が選択できるように、医療機関、介護保険、障害福祉分野との連携強化を継続し、地域課題の解決や地域の多様なニーズに対応できる事業運営を目指す。

【経営方針】

1. 利用者が楽しく安心して尊厳のある生活ができる支援を行う
2. 地域課題の解決に向けた取り組み
3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
4. 介護人材の確保と育成の取り組み
5. 災害・感染症対策・地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者が楽しく安心して尊厳ある生活ができる支援を行う

- (ア)意思決定支援ガイドラインに基づき、サービスの利用意向等も反映した個別支援計画の作成と実践に努める。
- (イ)身体機能の廃用性や生活意欲の減退を防ぐため、介護過程に基づいた利用者の“できる”“やりたい”を引き出す個別支援を多職種協働で行う。
- (ウ)オムツメーカーと協働して、利用者に負担の少ない排泄助動方法を検討、実施する。
- (エ)処遇困難ケースについて、グループスーパービジョンを行う。困難となっている原因を職員同士で分かち合い、利用者との関わり方法を模索する。
- (オ)虐待防止の手引きに基づいた、利用者の尊厳を守る取り組みや、理念の継承、倫理綱領の再確認等を行う。
- (カ)eスポーツ・バラスーツへの利用者参加を推進し、地域社会とのつながりを創る。
- (キ)利用者家族との意見交換を目的とした家族会を開催する。
- (ク)夜間の宅直看護師が遠隔で利用者状態を目視しながら、夜勤者と情報交換ができるようにLINEの動画通話などを活用した新たな方法を実施する。
- (ケ)入所・通所者の咀嚼能力等の口腔機能及び栄養状態を適切に把握し、「かたちのある食べ物を口から食べる楽しみ」を多職種で支援し、食事の付加価値を向上させる。
- (コ)水光熱費、食材料費の価格高騰に考慮した運営を行う。特に給食委託業者と協働し、給食のオペレーションの見直しを行い、新たな食事提供のあり方を導入する。
- (サ)施設の指定基準どおりに運営が出てきているか、年1回以上チェックを行い、地域連携推進会議にて地域から施設運営に関する意見を頂く機会を設ける。

2. 地域課題の解決に向けた取り組み

- (ア)訪問看護ステーション細江では、基幹病院である聖隷三方原病院・浜松医科大学医学部附属病院と連携を強化する。特に高齢者の独居世帯の増加が進む引佐地区への積極的な介入を行い「地域で暮らす」を支えていく。
- (イ)聖隷ヘルパーセンター浜松北では、細江、引佐、三方原、都田4地区を中心に引き続き地域ニーズに応えていく。特にヘルパーセンターいなさ業務連携し、訪問エリアの効率化を図る。
- (ウ)聖隷ケアプランセンター細江では、担当ケースについての関りと理解を深め、意思決定支援、後見人申し立ての支援等を他事業所と連携し行っていく。
- (エ)在宅福祉サービス事業所、通所事業所、相談支援事業所等が合同カンファレンスを定期的に行い、支援困難ケースを通じて実質的な連携の取り組み、課題解決の糸口を見出す。
- (オ)聖隷厚生園まじわりの家では、意思疎通ができない利用者に対して感覚刺激を促す新たな支援を行う。また、園芸活動を通じて利用者・職員ともに協働する場を作る。

- (カ)西部特別支援学校からの体験実習を積極的に受け、卒業後に利用者やその家族が求める地域生活ができるように支援計画を提案する。

3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造

- (ア)最新の介護機器を導入し、「介護の自動化」を推進させる。
- (イ)「ノーリフトケア」を継続し、職員が長く働き続けることができる職場づくりに努める。
- (ウ)支援記録・請求ソフト(ケアカルテ・ケアコネ)の更なる活用を進め、勤務表の自動作成ソフト導入を実現し、業務省力化を図る。
- (エ)カスタマーハラスメント防止において、指針に基づいた相談受付や研修を行う。
- (オ)職員が“利用者のためにやりたい”ことが実現できる自発的な活動を推進させる。
- (カ)レクリエーション機会を通じて、職員同士の交流を活性化させる

4. 介護人材の確保と育成の取り組み

- (ア)各専門職ラダー、コンピテンシー指標を活用し、職員の人材育成を図る。
- (イ)聖隷クリストファー大学・介護専門学校等と連携し、実習及びインターンシップの受け入れを積極的に行い、養成校とともに将来の介護人材の育成に貢献する。
- (ウ)聖隷厚生園ナルド工房・聖隷ワース工房浜松学園と連携し、障がい者雇用や就労継続支援の受け入れを積極的に行う。

5. 災害時・感染症発生時の対策・地域における公益的な取り組み

- (ア)大規模災害時や感染拡大時にも事業が継続できるように、BCP研修及び訓練を行う。
- (イ)地域の要請に応じて、災害等発生時には応援職員を派遣できるよう、介護力向上機動部隊(NIT)と協力していく。

救護施設聖隷厚生園讃栄寮

生活訓練事業所ナルド

地域活動支援センターナルド

障害者相談支援事業所ナルド

福祉共同住宅ファーストステップ

就労支援事業所

聖隷厚生園ナルド工房

救護施設では、生活保護制度の法改正に伴い、2025年度より個別支援計画書の作成が義務化され、利用者の希望や要望に則した個別支援の展開が求められる。利用者ニーズに視点をあて、利用者のそれぞれの心身の状態に応じて、できる事を一つでも増やし、目標達成できるように支援していく。

障害在宅事業部門では、地域利用者の年齢や障害の幅が広がり、対応が多様化・複雑化している。地域利用者の生活をより充実したものにするため、各事業所が地域関係機関との連携を強化する。また、安定したサービス提供が行えるように、他機関と協働した取り組みを経験することで、職員の知識向上に努める。

【経営方針】

1. 利用者の希望・要望を踏まえた個別支援計画書の作成し、個別支援を実践する
2. 利用者の心身状況に応じた機能低下予防支援に取り組む
3. 利用者にとって最適なサービス提供をするための体制強化を図る
4. 家族や関係機関と共通認識を持ち、適切なサービス提供に取り組む
5. 地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者の希望・要望を踏まえた個別支援計画書の作成し、個別支援を実践する

- (ア) 利用者の地域生活がしたい、イベントに参加したいという希望や要望を把握し、生活の中で利用者と職員が共に何か一つでもできる事を増やせるよう個別支援計画を作成し、実践する。
- (イ) 利用者の就労支援において、就労支援事業所の見学や体験機会を設ける。また、就労フェアやハローワークとの就労支援に対して、積極的に情報提供し参加を促していく。
- (ウ) 保護施設通所事業において、利用者が地域で孤立してしまわないよう外出企画やグループワークを実施する。また、相談支援事業所や訪問看護などの在宅サービス提供事業所と個別支援計画を共有し、利用者の生活環境や食生活など介入・支援していく。

2. 利用者の心身状況に応じた機能低下予防に取り組む

- (ア) 適切な口腔ケア支援や歯科受診を促進し、口腔内環境を整え、オーラルフレイル予防窒息予防に取り組む。また、歯科衛生士に協力を仰ぎ、利用者対象に勉強会を開催することで、日常的に美味しい食事を食べることができるよう働きかける。
- (イ) 加齢による身体機能低下を防ぐため、作業療法士の見解を個別支援計画書に反映し、利用者が主体的に日常的な身体リハビリテーションに取り組めるよう働きかけていく。
- (ウ) 入所者の心身状況に合わせ、高齢者福祉施設、障がい者グループホームなど関係機関や家族と協議連携し、利用者の希望を踏まえた生活環境の場を提供する。

3. 利用者にとって適切なサービス提供をするための体制強化を図る

- (ア) 障害者相談支援事業所ナルドでは、地域の利用者がサービス利用しながら生活が充実できるよう関係機関と連携強化を図り、地域生活を支援する。また、相談支援専門員の人材育成や職員の心理的負担を緩和するため、マニュアルや支援期間、職場会議での情報共有方法の見直しに取り組む。
- (イ) 地域活動支援センターナルドでは、パンフレット配布などの情報提供や浜松市自立支援協議会への参画など、関係するサービス提供事業と連携し、地域支援強化を図る。

4. 家族や関係機関と共通認識を持ち、適切なサービス提供に取り組む

- (ア) 生活訓練事業所ナルドでは、個別支援において社会生活自立度評価指標(SIM)を活用し、利用者の家庭やグループホームでの場での生活能力の可視化を図る。また、利用者のニーズに応じて、就労支援事業所ナルド工房と見学や体験機会を設け、就労準備訓練に取り組む。
- (イ) 福祉共同住宅ファーストステップでは、将来の単身生活イメージを構築するため、利用者の希望や要望を聞き取り、生活目標を明確にする。また、食事・金銭管理・健康管理・環境整備など、関係サービス提供機関との役割を明確にし、支援する。

5. 地域における公益的な取り組み

- (ア) 地域団体と協働し、地域清掃活動など利用者が活躍できる場を設け、施設と利用者、地域団体が一緒に地域貢献ができるよう取り組む。
- (イ) 大規模災害や感染拡大発生時など、要請に応じて職員応援派遣や福祉避難所として受入れを行う。

【施設理念】

働くことが『生きる喜び』となるように共に歩みます

【経営方針】

1. 利用者の仕事へのやりがいを引き出し、ステップアップができる取り組み
2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み
3. 就労支援を支える人材の質の向上と職員が安心して働ける職場作りの取り組み
4. 地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者の仕事へのやりがいを引き出し、ステップアップできる取り組み

- (ア) 定期的な企業見学や実習を行い、就職意欲向上の取り組みや課題の再確認を行う。
- (イ) 利用者のカンファレンスで動画を活用し、できたことや頑張ったことを視覚的にフィードバックするとともに、自己の課題を知り、働く時間や日数を増やす等、次のステップを明確にした計画を立てる。
- (ウ) 各作業場で利用者と一緒にグループワークを実施し、お互いにとって働きやすい職場となるように意見交換を行う。
- (エ) 喫茶コーナーを有効活用し、利用者ニーズに合った持続可能な訓練内容の提案・実施する。

2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み

- (ア) 生活訓練事業所ナルドと讃栄寮等と連携し、就労支援事業所の体験会を実施し、働くイメージづくりの仕組みを作る。
- (イ) 聖隷ワース工房浜松学園や聖隷キッチンと合等と協働し、就労継続支援B型からA型へステップアップできるように、見学や実習機会を設ける等の仕組み作りを行う。
- (ウ) 相談支援事業所や在宅サービス事業所と協働し、健康管理等に課題のある利用者が安定して就労ができるように、担当者レベルでのタイムリーな情報交換を行う。
- (エ) 就労選択支援事業を見据えて特別支援学校と情報交換を行い、生徒・保護者が卒業後の進路を見い出せるようなアセスメント実習の受け入れ・評価を行う。

3. 就労支援を支える人材の質の向上と職員が安心して働ける職場作りの取り組み

- (ア) 外部研修や研修動画等を活用し、職員が障害特性の理解や就労支援スキルの向上ができる学びの機会を作る。
- (イ) 厚生園内の在宅サービス事業所と協働し、利用者の在宅での様子や課題を知り、ライフステージにおける利用者の生活課題を視野に入れた就労支援スキルの習得をする。
- (ウ) 作業担当者不在時の心理的負担を緩和するため、マニュアルや手順書を作成し、事業所が一体的に就労支援を提供できる体制づくりを行う。

4. 地域における公益的な取り組み

- (ア) 小羊デイケアホーム等の近隣施設と合同防災訓練を企画・提案し、有事の際に協力ができる関係を作る。
- (イ) 法令に基づいたBCP訓練や研修を実施する。

地域活動支援センターナルド **マイピッグカフェに行ってきました** 3月11日

静岡県内では初出店の「マイピッグカフェ」に行ってきました！ミニブタよりもさらに小さなマイクロブタさんたちと触れ合えるカフェです。ブタさんたちは人懐っこくて甘えん坊！すぐに寄ってきて、膝の上に乗ってきてくれました。また、ブタさん同士、仲良く、くっついて寝ている様子も、とても可愛かったです。思っていたよりも重たくてびっくりしましたが、とても癒されるひとときでした！



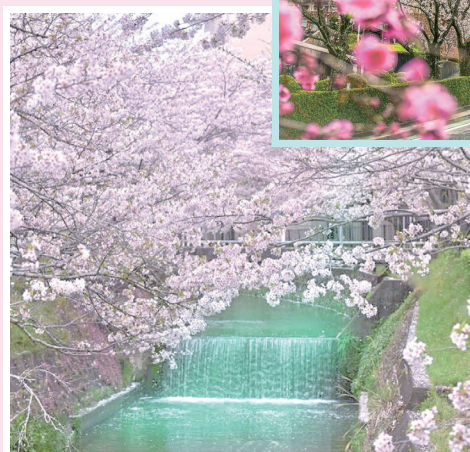
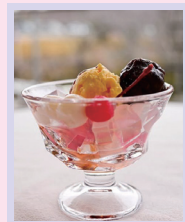
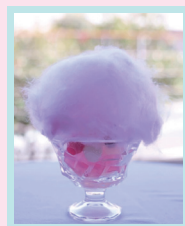
讃栄寮 **ソフトボール親善試合(vs慈照園)** 3月18日

和地山グラウンドにて、市内の救護施設慈照園とのソフトボール親善試合を開催しました。大接戦の末、残念ながら試合には負けてしまいましたが、最後まで笑顔でソフトボールを楽しむことができました。ご利用者からも「次は勝ちたい」「次も参加したい」などの声が聞かれました。



ナルド工房 **Caféナルド 期間限定オープン** 3月18日～4月18日

ナルド工房では就労支援の訓練として期間限定で「Caféナルド」をオープンしました。期間は3月18日から4月18日の1ヶ月間。ナルド工房の前に広がる見事な桜を愛でながら、カフェでくつろぐ人々をおもてなしました。たくさんのお客様のご来店ありがとうございました。



New face

10名の新たな仲間を歓迎！
この春、聖隷厚生園で働きはじめた
スタッフをご紹介します。



こんなこと聞きました

- ①趣味、特技は何ですか？
- ②最近ハマっていること、マイブーム
- ③ひとことメッセージ

信生寮
村松 千聖

- ①ゲームや読書
- ②猫と遊ぶこと
リングフィット
- ③新人ですが一つ一つ学んでいきたい
と思います。宜しくお願いします。



信生寮
福井 和宏

- ①柔道をしています
- ②早朝のサイクリング
- ③初心に戻り、
がんばります。



信生寮
内藤 信幸

- ①スノボ、サーフィン、
シュノーケリング、バイク
- ②景色が良い所をバイク
でフラフラ。(ぼっちツーリングです)
- ③お酒が好きなので飲み誘って下さい。



相談支援事業所ナルド
都筑 雄一

- ①車の運転・旅行
- ②UFOキャッチャーでの
お菓子・ぬいぐるみ取り
- ③常に走りまわって、どこへでも行きます！



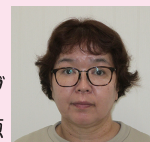
相談支援事業所ナルド
井口 みどり

- ①おやつ作り
- ②ケーキ作り
- ③まだまだ、がんばりますので
よろしくお願いします！



讃栄寮
赤尾関 理恵

- ①旅行、美術館、ドライブ
- ②トマトジュース、新玉葱
ちいかわ、森のいしぼんグッズ集め
- ③障害の方の分野は初めてです。楽しみ
ながら勉強していきます。



讃栄寮
加治佐 絢

- ①演劇鑑賞
- ②毎月、季節のお花を
家に飾ること
- ③ご迷惑をおかけするかと思いますが、
頑張ります。宜しくお願い致します。



讃栄寮
大江 翔

- ①音楽、映画鑑賞
- ②ジム、サウナ
- ③新天地浜松で翔いていきます！
よろしくお願いします！



讃栄寮
野間 重樹

- ①趣味はドライブ、洗車
特技は料理
- ②愛車のブジョーの写活(インスタ)
- ③いろいろ教えて下さい。



まじわりの家 **畑づくりに奮闘中！**

道路沿いの植え込みを畑にする
ためにご利用者と奮闘中です。木を
抜いたり地面を掘り返したりとな
かなかの重労働でしたが、楽しみな
がら取り組んで頂いています。大き
な石が取れるたび、達成感を感じる
ことができました。スイカやさつま
芋を育てることを楽しみにしなが
ら頑張っています。

